

<困窮者支援セミナー>

社会福祉士なら1度は聴きたい!!

「社会的孤立・孤独を防ぎ、 つながることの意味を考える」 ～生活困窮者を地域で支えるとは～

(公社)北海道社会福祉士会生活困窮者支援委員会主催

新型コロナウイルス長期化の影響によって社会的な孤立の問題が顕著に表れ、仕事や住まい、家計などに係る課題も複雑化・深刻化し、また、戦争や自然災害など、社会の根幹が揺るがされる事態が続く多重の不安ともいべき状況が広がっています。自分の居場所が社会にない、困っているのに声を出せない、生きることに疲れ、自分が困っていることにも気づけない、多くの孤立と困窮の現実があります。

本研修においては、困窮者支援について学びを深め、自らが所属する機関、地域においてどのような取り組みができるのか、参加者の日々の実践へ展開していくことを目的に開催します。



講師：生水 裕美氏
しょうず ひろみ

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク理事

平成11年4月に野洲市役所に消費生活相談員として入職し、その後平成20年10月より正規職員となり令和4年3月末に定年退職。
野洲市役所在職中は主に消費者行政、生活困窮者支援制度を担当し、この2つの分野を包括的に盛り込んで制定した「野洲市くらし支えあい条例」は、全国でも珍しい特徴のある条例である。
国との関わりについては、自殺総合対策の推進に関する有識者会議委員や、社会保障審議会（生活困窮者自立支援及び生活保護部会）、内閣府の消費者教育推進会議の委員を就任。

第2部

「困窮者支援の実践報告」

- ・自立相談支援事業所かみかわ生活安心センター 金子 真人氏
- ・ながしべつ地域生活支援センター 学習支援スペース「フレンズ」 戸田 泉氏
- ・室蘭市社会福祉協議会 山下 勇人氏



日時／2023年2月18日(土) 13:00～16:30 (入室受付12:30～)

開催方法／WEB会議ツール Zoomを利用したオンライン

申込締切／2月3日(金)

定員／50名

受講費／会員・学生：無料、非会員：1,000円

申込はこちら→

